

パンづくりを通して

自然と人間の関係の転換する

4月1日(土) 14:00~ Zoom 開催

パンを作って食べるとは、どういふことなのだろうか——麦を育てる、収穫する、粉にする、水と混ぜる、発酵させる、焼く、運ぶ、売る、買う、食べる。もともとは自然と人間との間で行われる「食」という「生」を支える営みである。そこに人間は、ありとあらゆる技術を投入してきた。そしていつの間にか、私たちは自然から切り離され、私たちの生は宙に浮いたようにさまよっている。パン工房タルマーリーを経営する渡邊格さんと麻里子さんはパン作りを通して、この生と自然のつながりを回復しようとしてきた。しかもそれによって経済をも見直そうとする。「パンを作れば作るほど、地域社会と環境が良くなっていく」——ほとんど革命的と言っていいその挑戦に触れる。



Guest

渡邊格 (見えない微生物の世界を想像する表現者)

渡邊麻里子 (見えない価値の世界を創造する表現者)

Host

斎藤幸平 (新しい価値を見える化する思想家)

梶谷真司 (新しい方法をデザインする思想家)



申し込み
↓

<https://x.gd/WFdJN>